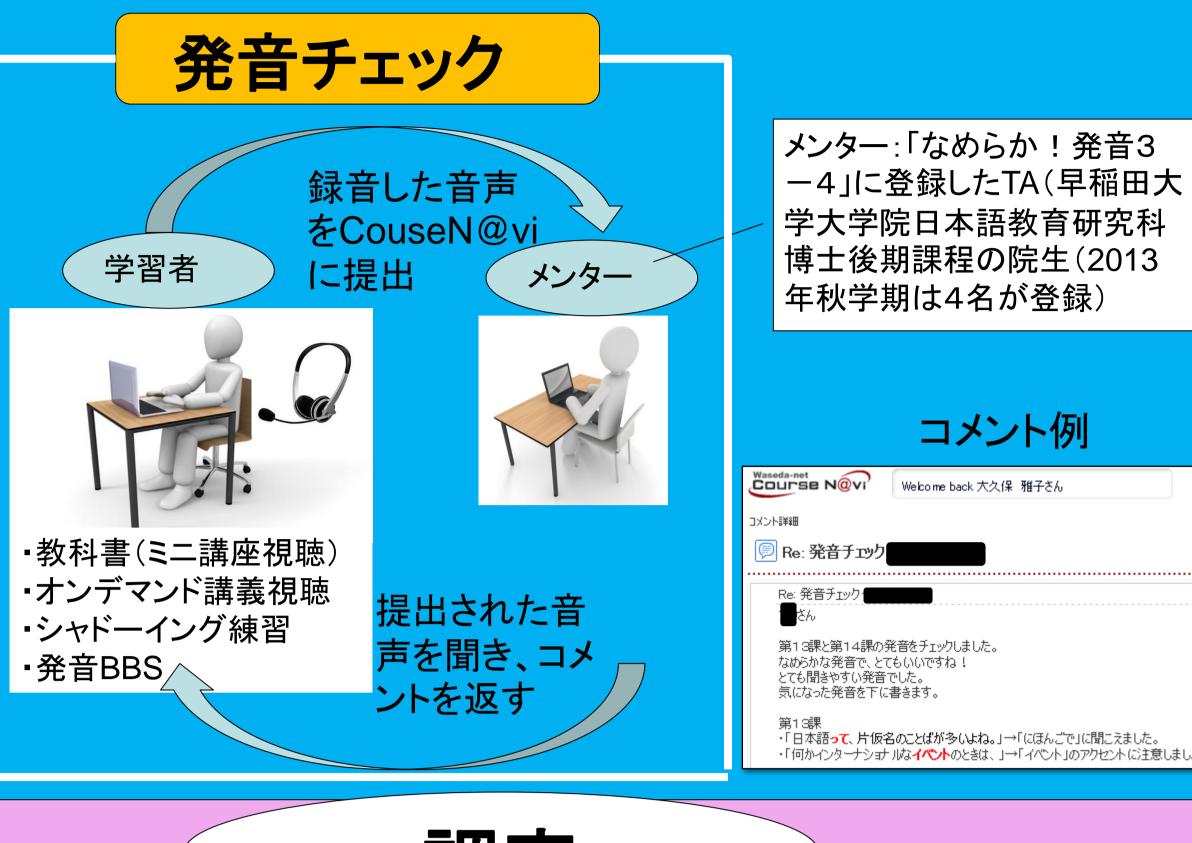
日本語学習者の音声習得を促す発音学習支援 一継続的な自律学習に向けた支援方法—

戸田貴子(早稲田大学院大学日本語教育研究科教授)・大久保雅子(早稲田大学日本語教育研究センター) 千仙永(早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)・張婉明(同左)・趙靚(同左)

オンデマンド授業における発音学習支援





「発音チェック」の特徴

- 練習の成果を確認できる。
- ・発音上の問題点を指摘してもらえる。
- -いつでも提出できる。
- ・何度でも提出できる。
- ・文字でフィードバックが提供される ため、学習者にとって内容理解が 容易となる。
- -Learning Management System (LMS)によって、全てのやりとりが画面上に表示され、学習管理がしやすい。

調査

研究目的:継続的な自律学習を促すための支援方法、音声習得を促す支援方法を検討する。

調査フィールド: 2013年秋学期「なめらか!発音3-4」(受講生29名)

調査方法:「発音チェック」におけるメンターのコメントおよび提出・再提出音声を分析する。

調査対象者:発音チェックを利用した学習者27名の中で、再提出(再再提出)を行った学習者13名

調査結果: (修正)

音声項目	指摘数	再提出・再再提出で修正された数	
アクセント	123箇所	101箇所	82. 1%
長音/短音	21箇所	20箇所	95. 2%
促音	11箇所	11箇所	100%
撥音	1箇所	1箇所	100%
その他	17箇所	17箇所	100%

≪メンターのコメントにみられた共通点≫

- アクセントの指摘では、自分で問題点に気づくよう具体的な音の 高低やアクセント核を示さない。
- ・特殊拍(長音/短音、促音、撥音)の指摘では、問題箇所を提示したり、どのように聞こえたのかを提示している。

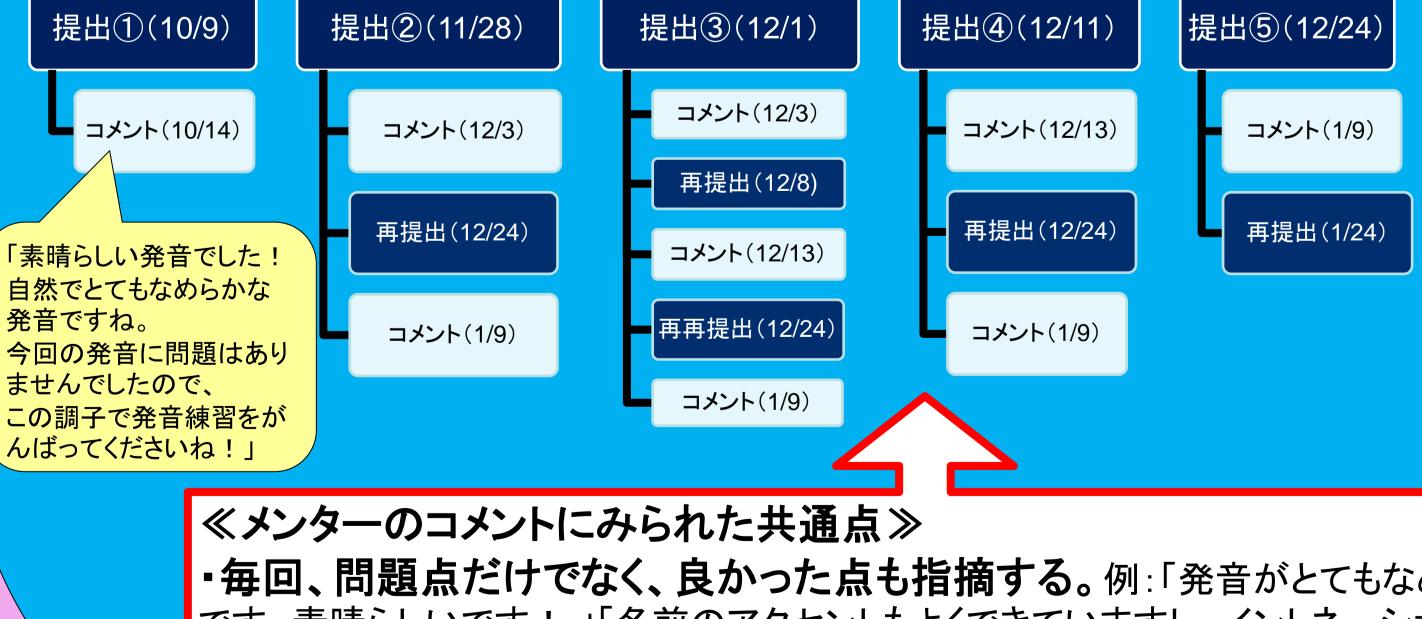
≪メンターが目指した支援≫

- コメントを通して学習者に問題点に気づかせる。
- コメントを通して学習者に発音練習を継続させる。

音声項目 メンターのコメント例 「よく知ってるねえ。」→「よく」のアクセントに注意しましょう。(メンターA) アクセント 「うん、『棚からぼたもち』でしょう。」⇒「ぼたもち」のアクセントが気になります。アクセントに気を付けて、 発音してみましょう。(メンターB) •()の中の点に注意して、自分の声とCDのモデル音声の声を比較して聞いてみてください。おはようござ います(**高さ**)(メンターC) ・少し気になったところを書きますので、確認してくださいね。「杖です」の「杖」のアクセント(メンターD) ・「これから図書館に行くっていってたよね。」→「としょかん」が「としょーかん」になっていました。(メンターA) 長音/短音 ・「田中先生、おはようございます。」⇒「おはよございます」に聞こえました。気を付けましょう。(メンターB) •「なぞなぞを三つ出すよ。」⇒「みっつ」が「みつ」に聞こえました。(メンターA) 促音 「べらべらしゃべっちゃった!」⇒「べらべらしゃべちゃった」に聞こえました。「っ」が2つもあるので、難し いかもしれませんね。「っ」の発音に気を付けましょう。(メンターB) 「今日は、いい天気ですね。」⇒「今日は、いいてきですね。」に聞こえました。「てんき」の「ん」をしっかり 撥音 発音してみましょう。(メンターB)

(繼続)

例①: 学習者A



•毎回、問題点だけでなく、良かった点も指摘する。例:「発音がとてもなめらかで自然です。素晴らしいです!」「名前のアクセントもよくできていますし、イントネーションや母音の無声化もとても自然です。」

•次回の再提出を促す。例:「再提出の録音と、次の課の録音をお待ちしております!」

例(2): 学習者B

提出②(10/13)

提出①(10/5)



提出④(10/26)

結論

【メンターのコメントにみられた共通点】

- ①学習者の発音上の問題点に関して、詳しい説明をせず、簡単な指摘のみに留める。
- ②良かった点を指摘することによって、モチベーションを高める。次回の提出を促す。

【学習者にみられた共通点】

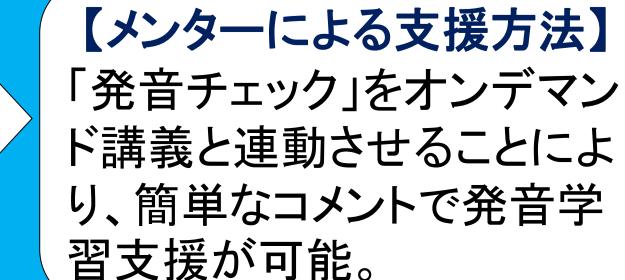
①発音上の問題点の改善 ②発音練習の継続

【コメントの機能】

提出③(10/20)

学習者に

- ①**自己モニター・自己調整**を 促す。
- ②自律学習を促す。



提出⑥(11/15)

提出⑦(1121)

提出⑤(11/12)